

接合科学研究所 女性の会(JWRI 女会)

梅田 純子

接合機構研究部門 複合化機構学分野 准教授

2018年7月30日(月)昼休みに、第4回 JWRI 女会が開催され、25名の女性教職員と3名的女子学生が参加しました。

まず、初めての参加となった3名の自己紹介を行いました。大人数を前に緊張した面持ちでしたが、笑顔と温かい雰囲気次第に打ち解けられていました。

次に、先月発生した大阪北部地震における大阪大学の被害状況の情報共有を行いました。また、致命的な損害は免れたが大きな被害に合われた2名の職員が、被害写真を示しながら発生時の状況や、効果のあった地震対策について説明がありました。一方、万全だと思っていた対策が実は十分な効果が得られず、被害が出たという報告もありました。最も効果的だとされる設置場所や条件を理解して耐震グッズを使用することが、耐震効果を高めるということを学びました。その他にも、日頃は希薄になりがちな

近所づきあいですが、ママ友ネットワークで早く情報を得ることができた・市がホームページで発表する情報を遠方の友人が教えてくれた(被害者は片付けに忙しくて随時更新を確認できない)・職場の人から食糧調達の最新情報の提供が嬉しかった、などの精神的な支えは普段の付き合いが大切であることも学びました。被災した方々に実体験を語ってもらうことで、今すぐできる防災対策や正しい知識を得ることができました。

さらに、職場で取り組むべき課題として、各研究室や部署における連絡網の整備・日本語を話せない外国人へのサポートが挙げられました。

当研究所では年1回の消防訓練は行っていますが、大阪北部地震を経験したことで、いつ起こるか分からない災害について、一人ひとりが意識を新たにしました。

